



営農ウィークリーNEWS

花育の推進、各種イベントに参加・京の花をPR



洛南支店花き部は、2月15日、京都市伏見区にある大型ショッピングモール（MOMOテラス）で開かれたイベントに参加し、花育を推進されました。

イベントは、はなぶさ基幹ステーション（地域の各種団体が構成する組織）が主催したもので、地域で支えるスマイル子育て応援講座の15回目として行われたました。



洛南支店花き部のコーナーでは、部員が栽培した旬を迎える「菜の花」、「桃」の切り花を使用した親子で楽しんでもらうアレンジメントフラワー教室が行われました。参加費無料で行われた教室では、京都生花株式会社の花育事業に協力するフラワーアレンジメントの講師とスタッフ、部員が指導を行い、親子5組1回を定員とし、20分間の教室を10回行われました。教室で作ったアレンジメントフラワーは、持ち帰る事ができるなど回に、定員を超える参加者で人気を集めました。



生け花の展示

京都市伏見区役所の正面入口、ロビーでは、2月17日～21日の期間限定で洛南支店花き部の部員が栽培した「桃」を使用した池坊による生け花の展示が行われました。



-TAC information-

特産「花菜」「京はたけ菜」「マルシェ」



マルシェの様子



京はたけ菜



期間限定メニュー

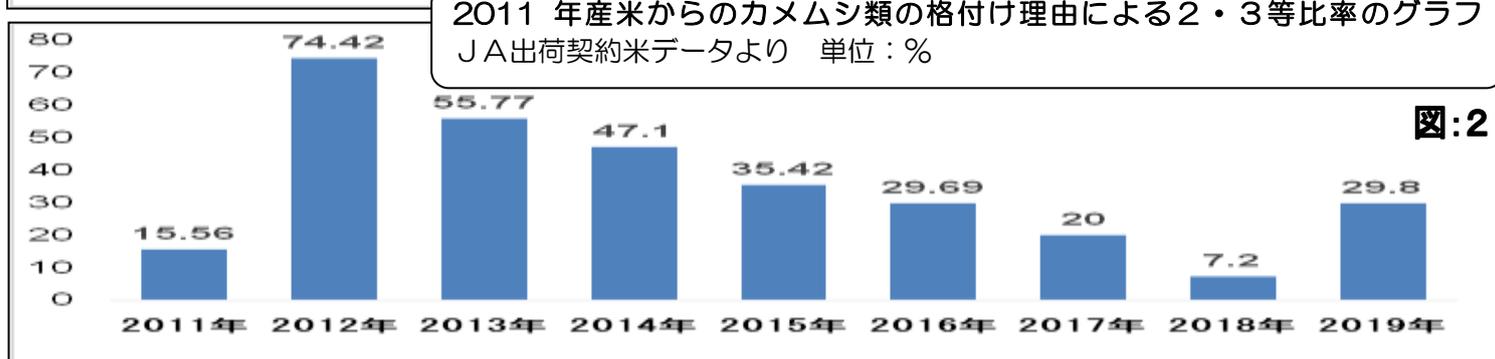
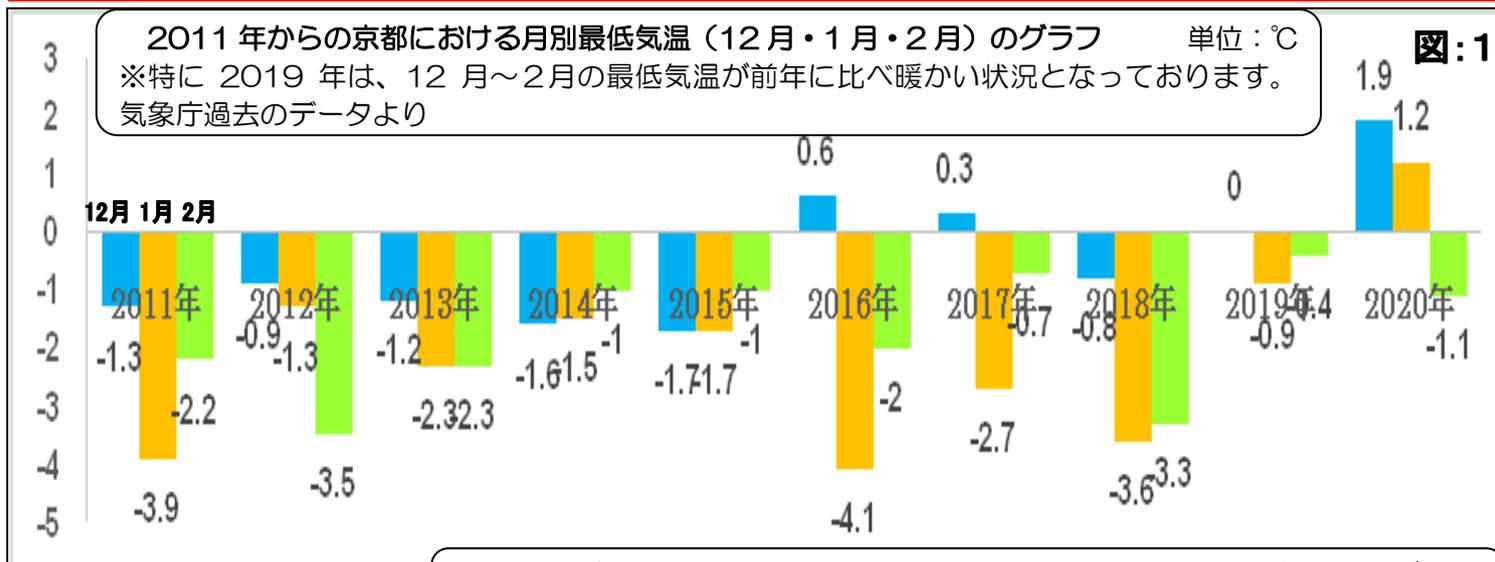


花菜

2020年2月29日（土）高島屋京都店3階にある「みのる食堂」にて、当JA特産「花菜」「京はたけ菜」の販売促進を目的にマルシェを実施しました。

2月は、1カ月間「花菜」をメインとして期間限定メニューが提供されました。

暖冬の影響による害虫の発生量に注意してください！



水稲では、図：1、2のとおり2019年産米のカメムシ類による格付けで品質を低下させた要因は、暖冬の影響によるカメムシ類の越冬成虫が多かったことと思われます。

2020年冬期は、図1のとおり、昨年より更に温暖であることから、特に注意が必要です。色彩選別機も普及しておりますが、圃場での防除も必ず行ってください。

管内の西南部地域で発生している大型のミナミアオカメムシには、特に注意が必要です。また、カメムシ類以外では、スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）も冬期が温暖であれば、被害が多く発生する傾向です。田植え直後の若い苗を食害しますので、発生している地域では、田植直後の防除を行ってください。

※水稲以外の野菜・果樹類等も暖冬の影響による害虫の発生量に注意が必要です。

◆ミナミアオカメムシとは、本州南部、熱帯地方など暖かい場所に広く分布するアオカメムシの典型的な種の一つ。32科145種以上の植物に寄生し、イネ科、マメ科、ナス科、アブラナ科、果樹類など多くの作物を加害します。（きゅうり、ねぎなど）水稲では、開花直後から収穫時まで登熟期間を通じて加害し、一般カメムシ類の約2倍の被害を発生させることが知られています。

◆スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

南米原産の淡水生の巻貝で、日本に食用として持込まれたものが逃げ出し、野生化したもの。主に植食性ですが魚の死骸などの動物性のエサも摂食します。温暖な気候を好み、温暖化により分布地域と被害も水稲やレンコンなどにも拡大しています。

